

教科	国 語	科目	言語文化	単位数	2	学年	1 学年
学科	全学科	コース		教科書	精選言語文化（東京書籍）		
副教材	言語文化 学習課題ノート（東京書籍）						
学習 目標	言葉による見方、考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質、能力を育成することを目指す。						

		学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			備考
				知 技	思 判 表	主 体	
1 学 期	4 月	随筆 言葉を届ける	・随筆の読み方の基本を理解し、別の随筆を読む際にも活用する。	◎		○	
	5 月		・それぞれの短歌に対する筆者の考えを根拠をもって捉え、考えをまとめて説明する。		◎	◎	
	6 月	小説1 羅生門	・本文で用いられる漢字や語句の意味や使い方を習得する。	◎		○	
	7 月	古文学習のしるべ① 古文の言葉と仮名遣い 児のそら寝 『宇治拾遺物語』	・老婆の話を受けての下人の心理の変化を読み取り、自己のものの見方、感じ方について考えを深める。		◎	◎	
			・説話というジャンルがどのようなものか理解する。	◎		○	
			・最後の描写の意味について理解する。		◎	○	
2 学 期	8 月	詩歌 小景異情	・詩集や作者についての知識を深め、その内容を説明させる。	◎		○	
	9 月	I was born	・詩に込められた作者の心情について自分の考えを述べ、話し合いなどからさらに自分の考えを深める。		◎	◎	
	10 月	漢文入門 訓読の基本 故事成語	・送り仮名や返り点の付け方について理解をする。	◎		○	
			・訓点に従って漢文を読み、熟語や格言の意味を理解する。		◎	○	
	11 月	小説2 富岳百景	・第1段を作品冒頭に置いた作者のねらいや効果について理解し、説明する。		◎	○	
		随筆 徒然草	・『徒然草』作者について知識を深め、構成に与えた影響についても理解する。	◎		○	
	12 月	日記 土佐日記	・作者のものの見方から、自分の味方について考えを深める。		◎	○	
			・『土佐日記』と作者についての知識を深める。	◎		○	
3 学 期	1 月	寓話 寓話13編 借虎威 朝三暮四	・春秋・戦国時代の時代背景や諸子百家についての知識を獲得する。	◎		○	
			・文法事項を踏まえて逐語訳し、それぞれの故事成語の意味を理解する。		◎	○	
	2 月	思想 論語 11章	・『論語』成立の時代背景や孔子についての知識を獲得する。	◎		○	
			・孔子の学問観について本文から読み取る。		◎	○	
	3 月	作品を読み比べる 桜に関する作品を読み比べる	・日本文学における桜を題材とする詩歌や文章について理解する。	◎		○	
			・桜を題材とする文章を読み比べ、自分のものの見方や考え方を深め、それについて根拠をもって説明する。		◎	◎	

※ 評価の観点欄は、重点的に評価する項目に◎、評価する項目に○を記入している。

評価方法	・定期考査に加え、節間テスト、課題、ノート提出などを総合的に評価する。 ・平常の取組（授業態度、意欲等）についても評価する。
------	---